

二〇二三年二月一日(参加者二名)

茶の花や利休自刃の供養塔

かかし

茶の花や宇治十帖をめぐりては

満天

凧やカリオンの音の遙かより

豊実

凧や童話のごとく襟を詰め

明日香

凧に旅の地酒を酌む夜かな

みづき

凧や路面電車の駅に佇つ

豊実

店先に茶の花咲かせ宇治の茶舗

はく子

木枯しの谷底を行く一両車

うつぎ

尼寺の垣根めぐらすお茶の花

みづき

木枯に泳ぐボールを打つテニス

ぼんこ

茶の花やここにも家があった筈

うつぎ

茶の花の谷戸に残れる昼の月

宏虎

凧や着地の鴉勇み足

かかし

WEB句会みのる選・二〇二三年二月一日

凧や夕日呑み込む河口かな

素秀

凧や微動だにせぬ関門橋

せいじ

山門を潜れば左右にお茶の花

こすもす

凧や攫はれさうに稚児一人

うつぎ

凧に鞭のやうなる柳の枝

あひる

大寺へと続く茶の花垣の道

はく子

凧に足場の揺れのただならず

みづき

凧と回転ドアを潜りけり

満天